



PRESS RELEASE

令和 8 年 7 月 31 日

西日本豪雨で救出された古文書、岡山市に寄贈

◆発表のポイント

- ・西日本豪雨の際に救出された武藤家文書（278 点）が修復・調査を終え、所蔵者から岡山市立中央図書館に寄贈されました。
- ・修復・調査には、学内に事務局をおく岡山史料ネットがボランティアとともにあたりました。
- ・この古文書の内容を紹介する催しが、8 月 2 日に岡山県立記録資料館で開催されます。

岡山大学文明動態学研究所所長の今津勝紀教授が代表をつとめる「岡山史料ネット」が西日本豪雨の際に救出した岡山市北区の武藤家文書が、ボランティアのみなさんによる修復と調査を終え、6 月 23 日に岡山市立中央図書館に寄贈されました。

この武藤家文書 278 点には、1904～05 年の日露戦争に従軍した兵士からの手紙や、醤油の製造やその経営に関する記録など、明治から昭和戦前にかけての北区御津地域の歴史を考える重要な記録が確認されており、その概要は「岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要」でも紹介しています。

武藤家文書が、地域の歴史資料の保存・公開に精力的に取り組んでいる岡山市立中央図書館に寄贈されたことで、多くの市民のみなさんにご覧いただけるようになり、地域の歴史をふまえたまちづくりなどで活用されることが期待されます。

◆研究者からのひとこと

西日本豪雨の際、私たちの古文書の存在を知らせて下さったのは泥出しのボランティアの方でした。泥のついた資料を洗浄・乾燥するという地道な作業にも多くのボランティアの方が参加してくださいました！今後、多くのみなさんにご覧いただけることを願っています。



今津教授



PRESS RELEASE

■発表内容

<現状>

大規模災害時に地域の歴史資料を救出していく活動は、1995年の阪神・淡路大震災以後、全国各地で取り組まれるようになりました。こうした活動のなかで救い出された記録は、被災した町にしかない歴史をひもとくという「心の復興」を支えていくための材料となるものです。岡山史料ネットでは西日本豪雨の際に1,700点を超える資料をレスキューし、ボランティアのみなさんと洗浄・乾燥作業にあたっており、調査を終えた記録について所蔵者に返却する作業を続けています。

<研究成果の内容>

このたび岡山市立中央図書館に寄贈された武藤家文書は、被災住宅から土砂をかき出す一般のボランティアの方の気づきと連絡によりレスキューすることができた古文書です。岡山史料ネットでは、ボランティアのみなさんと古文書を洗浄し、乾燥する作業を進めました。その後、内容の調査を進めて、2025年末に写真撮影が完了して調査を終えました。以上のような調査の過程で、武藤家文書には日露戦争に従軍した兵士から戦場や従軍の様子を伝える手紙（写真）や、醤油の製造原料や仕込みの内容を記した「製造帳」、販売内容を記した「売掛帳」など武藤家の醤油醸造に関わる記録が多く含まれることが判明し、岡山市北区御津地域の明治から昭和戦前にかけての歴史を考える重要な記録であることが分かりました。

このたび災害を乗り越え調査を終えた資料が所蔵者から岡山市立中央図書館に寄贈されたことで、資料の活用がさらに進み、歴史をいかしたまちづくりに生かされることが期待されます。また資料が寄贈されたことを記念して、8月2日（日）には「レスキュー資料が地域を語る―御津郡金川村・武藤家文書をめぐって―」とする講演会を岡山県立記録資料館で開催します。レスキューと調査に関わった上村和史氏（高梁市教育委員会）からレスキュー当時の様子や明らかになった地域の歴史についてお話しいたします（申込不要・会費無料・当日先着30人）。



レスキュー直後の様子（2018年7月）



軍事郵便（修復後）



岡山市立中央図書館への寄贈

<社会的な意義>

岡山史料ネットが西日本豪雨の際に7か所から約1,700点の資料をレスキューしました。武藤家文書が岡山市立中央図書館に寄贈されたことで、調査の完了を待つ資料はあと1つ（約350点）となりました。この資料も地域にお返しすることができるよう、調査を進めていきます。また、今後全国各地の団体と連携しながら、大規模災害における歴史資料の保全活動を市民のみなさんとすすめていきます。



PRESS RELEASE

■論文情報

論文名：岡山県御津郡金川村武藤家文書目録・史料紹介

掲載誌：『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』49巻

著者：上村 和史, 東野 将伸

DOI: <http://doi.org/10.18926/58151>

■研究資金

本研究は、岡山大学文明動態学研究所 2025 年度「共同研究プロジェクト」(研究代表: 東野将伸)、および独立行政法人日本学術振興会 (JSPS)「科学研究費助成事業」(特別推進研究・19H05457, 研究代表: 奥村弘および基盤研究 A・25H00489, 研究代表: 奥村弘) の支援を受けて実施しました。

■補足・用語説明

岡山史料ネット (代表=今津勝紀・岡山大学文明動態学研究所所長、専門は日本古代史) は 2005 年に設立された大規模自然災害の際に古文書や地域の歴史に関わる記録のレスキューや活用に取り組むボランティア団体です。市民・研究者・行政関係者など活動に関心のある個人によって組織されており、年に 1 度、活動報告会を開催しています。

<http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>

<お問い合わせ>

岡山大学 文明動態学研究所

所長 今津 勝紀

(電話番号) 086-251-7408

(FAX) 086-251-7408



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



レスキュー当時の武藤家文書(2018年7月・事務局所蔵)

2026年度 岡山史料ネット 活動報告会

レスキュー資料が地域を語る

—御津郡金川村・武藤家文書をめぐって—

2026-8-2 sun.14:30-16:30

会場：岡山県立記録資料館・研修室

岡山市北区南方2丁目13-1

ご来場は公共交通機関をご利用ください。岡電バス「番町口」下車徒歩7分

参加申込不要・当日先着30名

2018年に西日本豪雨の際にレスキューした武藤家文書がこのたび岡山市立中央図書館に寄贈されました。レスキューと調査に関わった上村和史さん(前事務局長)から当時の経過や調査を通じて明らかになったことなどお話しいただきます。

主催・問い合わせ 岡山史料ネット

災害時に地域の歴史資料を救出・修復するボランティア団体です。

okayamasiryonet@gmail.com X@okayamasiryonet

<http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>

会員による総会は13:30-14:00

共催・岡山県立記録資料館



懇親会参加希望者はQRコードからお申し込み下さい(7月30日締切)

